

公益財団法人 国際仏教興隆協会

第 18 回 理事会議事録

1.日時：平成 29 年 3 月 6 日／午後 1 時より

2.場所：東京都港区芝公園・増上寺会館 妙音の間

3.出席者

(1) 理事現在数/10 名 出席理事/6 名 欠席者/4 名 (桶屋良祐・高輪真澄・星 松岳・村上太胤)

1. 安孫子虔悦 2. 佐藤雅彦 3. 東海林良昌 4. 末廣久美

5. 高山久照 6. 中村康雅

(2) 監事現在数/3 名 出席監事/2 名 欠席者/1 名 (木村匡成)

1. 大西幸男 2. 小澤昌弘

4.議長 中村康雅

5.議 題

議案事項

- ・第 1 号議案：平成 29 年度事業計画案承認の件
- ・第 2 号議案：平成 29 年度収支予算案・資金調達及び設備投資の見込みについて承認の件
- ・第 3 号議案：「経理規程」の一部改訂の件
- ・第 4 号議案：任期満了に伴う顧問・参与選任の件
- ・第 5 号議案：印度山日本寺の社会福祉事業の実施方向について

6.会 議

(1)開会宣言：佐藤雅彦事務総長

(2)定足数報告：佐藤事務総長より定款第 31 条に基づき会議の成立を宣言

(3)定款第 32 条に基づき中村康雅理事長が議長席に着席

(4)佐藤事務総長より定款第 33 条の 2 に基づき議事録に理事長および出席監事の署名捺印を要する旨を通達

7.議事経過および決議

中村理事長の挨拶に続き、佐藤事務総長より 2017 年 1 月 21 日、日本寺に於いて北河原公敬師の印度山日本寺第 6 世竺主晋山奉告法要が執り行われた旨、また、ブッダガヤ日本寺境内での仏教学東洋学研究所の建設が開始された旨の事業報告後、議案審議に入る。

第 1 号：平成 29 年度事業計画案承認の件

中村議長により、議案第 1 号が上程され、事務局より配布資料をもとに原案を説明。審議の結果、同案について賛否を諮ったところ、出席理事全員の賛成により平成 29 年度事業計画案は原案通り承認された。

第2号議案：平成29年度収支予算案・資金調達及び設備投資の見込みについて承認の件

中村議長により、議案第2号が上程され、事務局より配布の収支予算書内訳表（案）、資金調達及び設備投資の見込みについて説明。審議の結果、同案について賛否を諮ったところ、出席理事全員の賛成により平成29年度収支予算案・資金調達及び設備投資の見込みについては原案通り承認された。

第3号議案：「経理規程」の一部改訂の件

中村議長により、議案第3号が上程され、事務局より配布資料を元に説明。審議の結果、同案について賛否を諮ったところ、経理規程第31条、第34条の一部改訂が出席理事全員の賛成により原案通り承認された。

第4号議案：任期満了に伴う顧問・参与選任の件

中村議長により、議案第4号が上程され佐藤事務総長が、配布資料を元に説明。伊藤真聰、伊藤唯眞、稲山靈芳、上村貞郎、大谷光真、川端健之、小林正道、菅原信海、田中昭徳、常磐井慈祥、正本乗光、南澤道人、嶺興嶽、山田一眞、山田法胤の顧問選任について各候補者の選任賛否を諮ったところ、15名すべての候補者の顧問選任が出席理事全員の賛成により承認された。

続いて、安藤晃、飯塚大幸、市川智康、大野海雲、岡本永司、小仲正久、小野塚幾澄、日下悌宏、小坂機融、中西玄禮、西村七兵衛、澤井晃成、能登正晴、野間秀昭、横山照泰、安田松慶の参与選任について各候補者の選任賛否を諮ったところ、16名すべての候補者の参与選任が出席理事全員の賛成により承認された。

第5号議案：印度山日本寺の社会福祉事業の実施方向について

菩提樹学園事業の今後の実施方向について

高山理事から2016年9月に大橋正明氏に委託した印度山日本寺社会福祉事業実施調査の報告がなされた。「インドの幼稚園における知識を重視する教育内容とは異なる日本式の情操面の教育を主とした菩提樹学園の教育を受けたことにより、卒園生から好評価を得ているという結果が示された一方で小学校就学時に習得すべき学力が追い付かず、進学先小学校の付属幼稚園年長組または年中組にしか入れないという卒園児がいる。という現状報告を受け、今後の菩提樹学園の教育方針、教育内容の明確化が求められている。卒園児の小学校就学年齢を遅らせない為に菩提樹学園では2歳児（入園準備クラス）、3歳児（年少組）、4歳児（年中組）までとし、5歳児を小学校付属の幼稚園年長組へ編入させ小学校就学前に必要な学力を習得させるということも選択肢のひとつとして菩提樹学園事業の今後の実施方向について考えていきたい。」との発言があり、同案取扱いについて審議の結果、教育を受ける側の意見も踏まえて今後の教育方針、教育内容の見直しを検討していくということが出席理事全員の賛成により承認された。

光明施療院事業の今後の実施方向について

末廣理事より、大橋氏の印度山日本寺社会福祉事業実施調査の報告がなされた。「休診中の光明施療院の今後については、無料診療、投薬をする医療施設が現地には他にも数か所存在するため、現在求められている訪問診療やリハビリステーションを開設することが望ましいと知った。しかし、経費・運営の面から新たな施設の開設は困難である。そういった中で、菩提樹学園の園児や母子に特化し医療、保健面で支援を行うということを視野に入れていながら今後の方向を検討したい。」との発言があり、同案取扱いについて審議の結果、現行の形での光明施療院の診療再開ではなく、新たな形での医療支援を検討していくということが出席理事全員の賛成により承認された。

以上をもって議事を終了した。

以上の議事経過およびその結果を明確にするため、本議事録を作成し、理事長並びに出席監事つぎに署名押印する。

議事記録者：廣石香里

平成 29 年 3 月 6 日

公益財団法人 国際仏教興隆協会 理事会

議長 中村 康雅

署名人 小澤 昌弘

署名人 大西 幸男